

I 精神文化の研究及びその普及活動

当財団の基幹的事業である精神文化の研究及びその普及活動では、東西両洋における精神文化の科学的研究を進めるとともに、その成果の普及活動を展開しています。本年度は、次に掲げた事業に積極的に取り組みました。

1 精神文化の研究

(1) 実用の学の研究

実用の学の研究では、実業家の実学観や文化事業・教育事業などの調査・研究、資料収集を進めています。

本年度は、大倉書店創業者大倉孫兵衛の出版事業の調査研究と、神道・儒教・仏教から観た日本人の信仰心の研究などを中心として進めました。その成果は、平成23年度末から24年度にかけて大倉山講演会で報告し、『大倉山論集』第59輯に掲載する予定です。

(2) 東西文化融合の研究

この研究は、当財団の目的の1つである東西両洋における精神文化の科学的研究を行うものです。本年度は、世界各地の昔話に見る人間観・自然観・宗教観に関する研究、インドの詩聖タゴールが日本に与えた影響に関する研究等を行い、その成果を講演会、展示会で公開し、『大倉山論集』第58輯に掲載しました。

(3) 創業者及び研究所沿革の研究・調査

当財団の創業者、大倉邦彦の思想や事績、研究所の創立から現代に至る沿革等を調査し、その研究成果の編集・刊行や広報に取り組んでいます。本年度は、次に掲げた4項目を中心に事業を推進しました。

- ① 前年度に引き続き、佐賀県神埼市の大倉邦彦生家の所蔵資料を借用し、整理作業と仮目録の作成を進めました。
- ② 大倉山及びその周辺の変遷について聞き取り調査、写真収集等を行いました。
- ③ 研究所所蔵資料の調査・整理を行い、特に劣化が著しい映像フィルムの一部についてはデジタル化を行いました。
- ④ タゴール瑛子氏、篠崎洋子氏、伊東くに氏、今井和子氏等より資料の寄贈を受けました。

(4) 公開研究会

上記研究活動の成果や、研究員の専門研究の成果などを報告する公開研究会を次の通り開催しました。

時 期	報告者	テーマ
平成23年8月2日	林 宏美	海軍気象部分室の大倉山移転とその活動について ～大倉精神文化研究所所蔵資料の調査と聞き取りから～
平成23年10月6日	増田恒男	神奈川台場考

2 精神文化の普及活動

本年度は、次に掲げた講演会等を実施しました。

(1) 講演会等の開催

ア 大倉山講演会

4月・5月・6月・7月・3月の第3土曜日及び11月4日(金)に実施しました。横浜市大倉山

記念館ホールで全6回開催し、延 479 人が参加しました（無料）。

回	月 日	講 師	テ ー マ	参加人員
第 49 回	4 月 16 日	松下直弘	日本とスペイン語圏の昔話の比較 —3 という数字をめぐって—	79 人
第 50 回	5 月 21 日	村上祥子	韓国の蛇信仰と昔話	87 人
第 51 回	6 月 18 日	坂田貞二	昔話の世界で、日本とインドはどのよう につながっているか	76 人
第 52 回	7 月 16 日	平藤喜久子	日本の神話と昔話	65 人
第 53 回	11 月 4 日	インドの詩聖タゴールと日本文化		98 人
		臼田雅之	タゴールと日本	
		丹羽京子	タゴールの短詩	
		奥田由香	タゴールソング	
第 54 回	3 月 17 日	西岡和彦	神道と日本人の信仰心 —神典としての『古事記』の見方—	74 人

イ 公開講演会

横浜市大倉山記念館ホールで開催しました（無料）。

回	月 日	講 師	テ ー マ	参加人員
第 9 回	7 月 2 日	和田明美	『源氏物語』千年の魅力 ～紫の上の「うつくしさ」～	90 人

(2) 資料の展示

	時 期	テーマ等	入場者数	会 場
第 20 回研究 所資料展	3 月 23 日～6 月 30 日 (100 日間)	「ももたろう」が「モ モタロウ」だったころ	延 1,936 人	図書館閲覧室・ 公開書庫
第 21 回研究 所資料展	7 月 12 日～9 月 8 日 (42 日間)	「ちょっと昔の港北— この写真の持ち主を探 しています—」	延 1,001 人	図書館閲覧室・ 公開書庫
第 22 回研究 所資料展	11 月 1 日～12 月 24 日 (41 日間)	「インドの詩聖タゴール と大倉精神文化研究 所」	延 2,336 人	第 3 会議室・図 書館閲覧室・公 開書庫
常設展示		大倉精神文化研究所で 所蔵する沿革史資料等 を展示		図書館閲覧室

(3) 印刷物の編集及び刊行

ア 研究紀要『大倉山論集』第 58 輯の編集刊行

特集 5 篇、論説 7 篇、その他 3 篇 A 5 判 417 頁 700 部刊行

イ 各種リーフレット等の編集刊行

「平成 23 年度版、研究所のしおり」「平成 23 年度版、大倉山と精神文化研究所」「横浜市大倉山記念館の不思議いろいろ」「展示解説、「ももたろう」が「モーモタロウ」だったころ—昭和のはじめの幼児雑誌—」「展示解説、ちょっと昔の港北—この写真の持ち主を探しています—」「展示解説、八十五年前の絵ハガキで訪ねる世界遺産」「展示解説、インド

の詩聖タゴールと大倉精神文化研究所」等の編集刊行

(4) 電子情報の発信

ホームページの全面リニューアルを行い、研究成果や講演会等の情報を発信しました。

(5) 地域社会との連携

横浜市港北区役所、横浜市港北図書館、横浜市緑図書館、横浜市都筑図書館、横浜市金沢図書館、洗足池図書館、横浜市歴史博物館、横浜市大倉山記念館、在日インド大使館、山形県遊佐町役場、愛知大学、港北おはなし会、港北図書館友の会、神奈川大学フロンティア・クラブ、生涯現役つなしま会、日吉台地下壕保存の会、泉区歴史の会、わがまち港北を学ぶ会、グループ・イナバウアー、横浜シティガイド協会などと連携し、展示会、講演会、地域散策などを行いました。

II 図書館の運営と図書資料の充実・整備

附属図書館は、哲学・宗教・歴史・文学など入門書から専門書まで約 10 万冊を備えた精神文化の専門図書館です。

1 蔵書の現況

図書・AV 総数：98,468 冊・点（閉架図書：77,557 冊・AV：150 点・開架図書：20,761 冊）

2 本年度受入図書数：1,340 冊

	閉架図書		開架図書	
蔵書冊数	308冊	購入 123冊 寄贈 185冊	1,032冊	購入 893冊 寄贈 139冊

3 図書館の利用状況

開館日数	入館者数	開架図書貸出冊数	閉架図書閲覧冊数	複写枚数
246日	7,532名	9,121冊	476冊	991枚

4 旧分類による和書・洋書の本年度再整理状況：1,640 冊

5 タゴール文庫の整備・デジタル化

タゴールより贈られた書籍 159 冊をデジタル化し、公開しました。

(6) 図書館の PR としての資料展の開催

回	期間	テーマ	入館者数
第2回	7月12日～8月31日	歴史が語る震災	844人
第3回	9月13日～10月22日	『日本精神文化曼荼羅』に描かれた先哲たち（その1）	664人
第4回	1月17日～2月29日	『日本精神文化曼荼羅』に描かれた先哲たち（その2）	825人
第5回	3月17日～3月31日	芥川賞・直木賞 歴代受賞作品たち	363人

III 大倉邦彦生誕 130 周年・研究所創立 80 周年記念事業、タゴール生誕 150 周年記念事業(再掲)

創立者大倉邦彦と縁が深く、研究所設立理念にも大きな影響を与えたタゴールに関する資料公開、展示会、講演会などを行いました。

- (1) タゴール文庫の整備・デジタル化
- (2) 第22回研究所資料展「インドの詩聖タゴールと大倉精神文化研究所」
- (3) 大倉山講演会「インドの詩聖タゴールと日本文化」

IV 財団の構成、会議等

本年度における財団の構成、会議等の実施概況は概ね次のとおりです。

1 役員及び評議員

区分	定数(人)	前年度末	23年度		23度末	備考
			就任	退任		
理事	9～11	10	—	—	10	
監事	2	2	—	—	2	
評議員	10～15	10	—	—	10	

2 職員等

区分	前年度末	本年度		本年度末	備考
		就任	退任		
研究員	4	—	—	4	
客員研究員	11	—	—	11	
事務職員	2	2	2	2	
その他の職員	8	1	3	6	
計	25	3	5	23	

3 理事会、評議員会等

区分	開催年月日	出席者(人)	議事等	結果
決算監査	6月10日	2	平成22年度決算監査	良
理事会	6月22日	7(委任状 1人含む。)	平成22年度事業報告及び収支決算について 公益財団法人の最初の評議員候補者の推薦について	承認 承認
	9月8日	8(委任状 1人含む。)	定款の変更の案の承認について 移行認定申請の承認について 役員及び評議員の報酬等に関する規程について	承認 承認 承認
	3月22日	10(委任状 1人含む。)	平成24年度事業計画及び収支予算について	承認
評議員会	6月22日	8(委任状 1人含む。)	平成22年度事業報告及び収支決算について 公益財団法人の最初の評議員候補者について	同意 承認
	9月8日	8(委任状 1人含む。)	定款の変更の案の承認について 移行認定申請の承認について 役員及び評議員の報酬等に関する規程について	承認 承認 承認
	3月22日	9(委任状 3人含む)	平成24年度事業計画及び収支予算について	同意
評議員選 定委員会	7月8日	5	最初の評議員候補者の選任について	選任